



「永遠と一日」の
テオ・アングロプロス監督作品

エレニの旅

Trilogia:
To Lifiádi pou dakryzai

監督・脚本 テオ・アングロプロス / 脚本協力 トニーノ・グエッラ、パトリック・マルカリス、ジョルジオ・シルヴァーニ / 撮影 アンドレアス・シナノス / 音楽 エレニ・カライントル（セントラ・ユニバーサル・クラシックス）
美術 ヨルゴス・バツツァス、ニコス・ツォトリアディス / 編集 ヨリス・タグリッポ / 監製 ヨルゴス・バツツァス、トリア・ツァツァー / 制作 マリス・アタナソプロス / 制作コスモス・ラフプロプロス、ニコス・セケリス / 製作ワイビー・エコノモプロス
アレクサンドラ・アイディニ、ニコス・シルヴァニ、ヨルゴス・アルメニス、ヴァシリス・コロヴス、エヴァ・コタマドゥ、タリアル・ギリウー、ミハリス・キナスト、コラ・スタプロウ
©2004年ギリシャ・イタリア・ドイツ合作、ギリシャ映画 / 製作 = Theo Angelopoulos, Greek Film Centre, Hellenic Broadcasting Corporation ERT S.A.
Attica Art productions (Greece), BAC Films S.A., Intermedias S.A., Arte France (Paris), Classic SRL, Istituto Luce SpA (Rome), Network Movie, Reinhold Elscholt,
Peter Nadermann, ZDF/ARTE Mainz/Zurhorst (Germany) / 製作協力 = Canal + (Paris), RAI CINEMA (Rome), Bark Union of Greece, EURIMAGES, Fund of the Council of Europe
2 巻映画 91 / 1x1.85 / 日本語字幕・日本語解説 / 監修デザイン・デザイナー

©THEO ANGELOPOULOS, GREEK FILM CENTRE, ERT S.A., BAC FILMS S.A., INTERMEDIAS S.A., ARTE FRANCE, CLASSIC SRL 2004
2004年ベルリン映画祭正式出品、2004年ヨーロッパ映画賞国際映画批評家連盟賞受賞

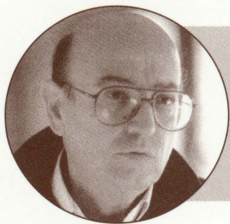
共同提供 フランス映画社 フランス映画社配給
紀伊國屋書店 BOW パウ・シリーズ作品 www.bowjapan.com

ギリシャの孤児エレニは、アレクシスとささやかな約束をした。地に降る涙のように…美しい旅への出発。



母へのオマージュ、激動の歴史に 涙だけで戦ったやさしさの肖像

ロシアのオデッサから革命の勃発で母国に逆難民として帰国してくるギリシャ人たち。そのなかに孤児エレニがいる。彼女は<ニューオデッサ>の村でスピロス一家の養女として育ち、一家の息子アレクシスの子供をひそかにみごもるが、やがてスピロスに結婚を迫られてアレクシスとともに逃がれ、音楽家のニコスに助けられて旅に出る……。1919年から1949年にいたる激動のギリシャ史のうねりの中で、時代に翻弄されながらも、一途な愛で生き抜くエレニ。「永遠と一日」いらい6年ぶりに放つアンゲロプロスの新作は、女性を主人公とする叙事詩映画の美しい傑作だ。



“私の母は「永遠と一日」のカンヌ映画祭での上映後になくなりました。20世紀の始めに生まれ、終りに死んだ。「エレニの旅」で描かれる愛と悲しみ、歴史の激動は、私の母が実際に生きたものです。”

すべて手づくり、CG排除で 村まで造ってしまった!

構想に2年をかけ、製作を開始したのが2001年の秋。撮影にはまる2年かかった。草原のなかに川ぞいの村があり、その水のはじまりをいつか二人で探しに行こうと主人公の少年と少女が約束する、というイメージを実現するために、なんと、当時の村を作ることからはじめてしまったからだ。デジタルやCG技術では実現できないほんものの美しさを求めて。



村は二つも作られた。そのひとつはニューオデッサには学校や教会も作られ、遠くの草木までも鮮やかでのどかな前半から、村はやがて洪水に襲われ、水中に没した凄絶に美しい姿でラストシーンの感動を呼ぶ。



美の極限を尽くす映像、 音楽だけで語る ストーリー展開が楽しい

脚本協力は20年来のコンビであるトニー・グエッラほか。撮影はヨルゴス・アルヴァニティスの助手からこの映画で1本だちの名手シナス。美術ほか現場チームの実力そうそうたる面々が映像美の極限に挑んだ。

音楽はおなじみのエレニ・カラインドルー。「エレニの旅」では主人公アレクシスがアコーディオンの名手なこともあって、音楽(サントラ=ユニバーサルクラシックス)がストーリー展開のカギとなっているのがお楽しみ。

世界がびっくり、 デジタルを超えるアナログ!

「エレニの旅」は神話的な風格の物語を心にしみいる映像美で語りかける。長さが特徴として語られるアンゲロプロス映画だが、一秒一秒の映像美の持続が心に響く人にとっては、長いどころか短いとさえいえる映像美。その美をさらに追い求める冒険と確信がこの映画にがっしりと根をはっている。<デジタルの時代に映画の原型を打ち出した!>(独・ディー・ウェルト紙)と、デジタルの究極にアナログがあることを実証して絶賛を浴びている。しかしニューオデッサの村をCGなしでどう撮影したのか? 尽きない興味と感動が待っている。



エレニの旅

監督・脚本 テオ・アンゲロプロス / 撮影 アンドレアス・シナス / 音楽 エレニ・カラインドルー [サントラ=ユニバーサルクラシックス]
アレクサンドラ・アイディニ、ニコス・ブルサニディス、ヨルゴス・アルメニス 2004年ギリシャ・フランス・イタリア・ドイツ合作ギリシャ映画 2004年ヨーロッパ映画賞国際映画批評家連盟賞受賞

4月29日(祝・金) **G.W. ロードショー**

特別鑑賞券 1500円発売中 (劇場窓口のみポスター付)

劇場窓口、都内主要プレイガイド、チケットぴあ、CNプレイガイドにて発売中。
当日料金(税込) 指定席2,000円/一般1,800円/大・高生1,500円/中学以下・シニア1,000円

シャンテシネ

03-3591-1511 www.chantercine.com

入替制

上映時間 11:30 2:55 6:20 (終映9:25頃)